

2021年度福島第一原子力発電所消防訓練計画

目標

- ① 基本的な知識と安全な動作を身につける。
- ② 指示命令の伝達方法を身につける。
- ③ 出勤から撤収完了までの一連の動作を安全かつ迅速に行う。
- ④ 緊対本部各班が火災発生時の対応を理解し、的確な対応を出来るようにする。
- ⑤ 火災発見者、火元確認者から必要な情報を収集し、緊対本部内で共有する。

種類	対象者	実施概要	目標項目	実施日	訓練場所	事務局	時間数
消防訓練	構内初期消火隊 (当直)	検索誘導ロープの設定と脱出、屋内消火栓操作、消防車操作、 <u>泡消火設備の操作、消防設備の概要説明</u>	①、②	5/11,19,28 6/7,24	協力企業棟	福島第一人財育成G	1回/人 (4時間)
		放射線管理研修(汚染傷病者対応、放射線測定器取扱い) 普通救命、空気呼吸器の装着、 <u>資機材取扱い</u>	①	10/27 11/18 12/23 1/12,26	協力企業棟	福島第一人財育成G	1回/人 (2時間)
		出勤、消防服装着、指揮命令、屋外火災の消防活動(時間測定)、 <u>実火訓練(消火器取扱い)、状況判断訓練</u>	①～③	9/28 10/6,22,26 11/8	構内	運用支援G	1回/人 (4時間)
		出勤、消防服装着、指揮命令、屋内火災の消防活動(時間測定)、 <u>状況判断訓練(スモークマシンの活用)</u>	①～③	12/1,6,15,24 1/6	構内	運用支援G	1回/人 (2時間)
構外初期消火隊、 緊対本部要員	火災発生時における各機能班および初期消火隊(実働)との連携訓練	①～⑤	構外訓練に合わせて実施	新事務本館	労働安全・防火G	—	
構外初期消火隊 (復旧班)	防火服装着、空気呼吸器装着、消防車操作、ホースハンドリング、指揮命令伝達要領、自衛消防隊の役割・活動内容、火災のメカニズム、火災分類、消火原則、消火器操作、ロープ結索、消防礼式、救助、 <u>状況判断訓練(スモークマシンの活用)</u>	①～③	4月～3月	構外 新事務本館	労働安全・防火G	月1回	
公設合同訓練	初期消火隊	公設消防との連携訓練	①～⑤	実施月は調整中	新事務本館	労働安全・防火G、	—
避難訓練	当社社員、 協力企業員	建物からの避難、安否確認・集計	①、②	実施月は調整中	新事務本館	労働安全・防火G、 総務G	—
緊対本部ミニ 訓練	緊対本部要員 (班長以上)	緊対本部ミニ訓練で火災編を実施	④、⑤	実施月は調整中	新事務本館	労働安全・防火G、 原子力防災G	—